

H14, AUT,

CMnavi

No. 13

(社)日本建設機械化協会

中国支部

■新任御挨拶

この度、(社)日本建設機械化協会中国支部副支部長の任を仰せつかりました塚井でございます。

さて、当支部は諸先輩や皆様方のご努力により創立50周年の節目を過ぎ、新たな未来へ向けてスタートしたところであります。

社会・経済環境が大きな転換期を迎えている時代ではありますが、我々は協会の一層の発展に向けて更に努力を積み重ねていかねばなりません。このためには、先輩方の築かれてきた建設事業の機械化の推進という基本を軸に、支部の更なる活性化を目指した新たな取り組みを模索していかねばならないと考えているところです。

微力ではございますが、会員の皆様方とともに知恵を出し合っただ協会の発展に頑張っていきたいと考えておりますので、引き続きご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

副支部長 塚井 直樹

■新任御挨拶

第51回支部総会におきまして青木副支部長が退任され、後任の副支部長を命じられました佐々木でございます。よろしくお願い申し上げます。

さて、当支部は本年度に支部創立50周年を迎えましたが、これまで当協会が創立以来果たしてきました「建設工事の機械化施工」の推進、啓蒙活動を引き継ぎ、さらに発展させることが大きな責務と考えるものであります。

現今、建設事業の推進にあたりましては、施工の効率化を図る新技術の活用、コストの低減、省資源化、地球規模の環境改善、依然として発生率の高い労働災害の防止対策など

多くの課題が山積しております。これらの中から当支部として取り組める課題を会員の皆様のご意見、関係機関のご指導を頂ながら取り上げて参る所でございます。

何卒、会員の皆様はじめ関係各位のご協力、ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

副支部長 佐々木 輝夫

平成14年度下半期主要行事決定

区 分	行 事 名	日 時	内 容
講 演 会	I Tを活用した建設施工の情報化	11月7日	無人化施工の現状と将来 油圧ショベルのメカトロ制御技術 小口径掘削工における遠隔施工支援システム 建設機械情報化への取り組み I Tを活用した機械管理 (e-Service) 参加者 69名
	公共工事の入札契約のより一層の適正化に向けて	1月30日	公共事業をとりまく最近の話題について 総合評価落札方式について C A L S E / C の取組について
	異分野技術の現状	2月上旬	医療機械、福祉機械、農業機械等の現状
説 明 会	機械設備工事積算基準及び機械設備工事積算基準マニュアル	12月10日	国土交通省機械設備工事積算基準について 機械設備工事積算マニュアルについて 機械設備工事関連のビデオ上映 参加者 55名
新技術・新工法発表会	第11回「わが社の新技術・新工法発表会」	10月8日	アーチ型合成床版 エコサイクル緑化工法 Hiピーズ(石炭灰造粒物)を使ったサンドドレン工事 竹割型構造物掘削工法 山岳トンネル工事における爆薬の遠隔装填システム 振動法によるジェットファンの診断技術 参加者 83名
	第12回「わが社の新技術・新工法発表会」	3月上旬	
見 学 会	第1回見学会	10月22日	斐伊川放水路事業・大津高架橋工事現場 参加者 26名
	第2回見学会	2月下旬	
技術研修	建設機械施工技術検定の技術研修	11月25日 ～27日	受講者 2級 67人
CMnavi	CMnavi NO.13 CMnavi NO.14	12月発行 3月発行	
J C M A 会	1回 J C M A 会 2回 J C M A 会 3回 J C M A 会	10月2日 12月12日 4月上旬	参加者 13名 参加者 18名
協賛事業	中国地方建設技術開発交流会 鳥取県会場 岡山県会場	10月31日 11月8日	参加者 200名 参加者 260名
	しまね建設技術展2002	11月1～2日	参加者 4,500名

■ 部会紹介コーナー新設

本号より部会紹介コーナーを設けることにしました。
各部会の活動状況・会員へのお願い等について紹介致します。

体 裁 A4判 半～1頁 毎回1部会紹介
書 式 書式は決めておりません。

■ 会員紹介コーナー新設

次号より会員紹介コーナーを設けることにしました。
会員各社の紹介を致しますので、振るて応募願います。

体 裁 A4判 半頁 毎回4社程度紹介 (下記書式参照)
書 式 所在地、代表者、創業、会社設立、電話、FAX、E-mail、
ホームページ、社章、会社名については定型書式です。
紹介内容 書式は決めておりません、次ぎのテーマ等を参考に紹介願います。
会員各社のスローガンまたは我が社の基本方針等。
会員各社の最近の話題。
会員各社の主力製品、新製品、新技術・新工法等PR。
事業内容、営業種目。
(社)日本建設機械化協会中国支部に望むこと。

掲載料 無料
申込方法 当支部事務局 随時

会員紹介 [株式会社 ○○○○○○]

所在地 []
代表者 [] 創業 [] 会社設立 []
電話 [] FAX [] E-mail []
ホームページ []

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○
△△△△△△△△
△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△
△△△△△△△
△△△△△
△△△△△△
△△△△△△
△△△△△△



××××××
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△

○○○○○
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△

社章→◎ 株式会社 ○○○○○○

■ 普及部会紹介

普及部会は、中国支部の広報活動をはじめとし、建設工事の機械化に関する啓蒙、普及を図るために、中国支部のホームページを設けるための準備を行っており、今後は、PRに力を注いで参ります。

支部創立50周年も団体会員皆様のおかげさまで、無事終了いたしました、時代の流れは非常に厳しいものがあり、支部が今後ますます発展するためにも「中国支部の改革及び活性化」について、企画部会と各部会ともに新しい内容になるよう努力しております。

その前ぶれとして、建設事業を取りまく色々な問題に対応できるように、共に幅広い知識を収得するため、他業種の技術の動向を聞く「異分野技術の現状」講演会を開催するよう準備を進めております。

一方、災害対策支援事業として中国地方整備局と災害発生時には、緊急時の技術者の応援をはじめ建設機械等の派遣等を行うよう中国地方整備局と協定を結ぶ予定であり、今後の応援体制について皆様の意見を聞かせて頂きたいと思っております。

中国支部の改革は元より、中国支部に期待されること等について、会員の方々のために、支部が発展するための内容が有りましたら、事務局の方にご連絡戴ければ幸甚と存じます。

普及部会長 平野 清 治

■ 中国支部新役員体制

支 部 長	佐々木	康	広島大学大学院工学研究科教授	再任
副支部長	塚 井 直	樹	中国電力(株)理事土木部長	新任
副支部長	佐々木 輝	夫	豊国工業(株)広島営業所営業推進部長	新任 (元技術部会長)
会計監査	宮 岡	諭	コベルコ建機エンジニアリング(株)取締役社長	再任
会計監査	前 田 洋	一	西田鉄工(株)営業本部企画部長	新任
企画部会長	小笠原	保	中国地方整備局道路部機械課長	新任
普及部会長	平 野 清	治	大和エンジニアリング(株)取締役営業部長	新任 (元会計監事)
施工部会長	田 中 和	夫	佐藤工業(株)中国支店土木営業部長	再任
技術部会長	白 井 忠	夫	あすなる建設(株)広島支店副支店長	新任 (元開発部会長)
開発部会長	増 永 和	彦	(株)東京鐵骨橋梁大阪支店営業部長	新任

■ 編集後記

11月13日に運営委員会が開かれ、平成14年度上半期事業報告・経理概況報告並びに平成14年度下半期事業計画について審議して承認されました。

なお、平成14年度下半期事業計画については、部会毎に当支部の活性化に向けて、これまでの各行事についての行事实績(内容・参加者等)、事後評価の実施、各種ニーズの検討等を踏まえ、現行事業の新たな取り組み、新規事業の提案がなされ、計画されております。

今回は14年度下半期の主要行事と今後CMnaviの新企画としての部会紹介コーナー及び会社紹介コーナー新設を中心にまとめてみました。

会員紹介コーナーは、会員の社業について、広くPRの場としてCMnaviの新企画に掲載させていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。

普及部会員一同